

# 東京YMCA野尻キャンプ オメガ 修繕募金のお願い



野尻湖のヨット文化を支えてきた「オメガ」。

昨年その船底に、多くの水泡が存在していることがわかりました。  
早急の修繕をいたしましたが、今後も継続的なメンテナンスが必要です。  
日本ヨット界の宝であるオメガを守っていくためにも、皆様の温かい  
ご支援をよろしくお願い申し上げます。

目標募金額：**100**万円  
修繕費用：  
1,552,100円



オメガは、日本のヨット史の黎明期を支えた、歴史ある貴重なヨットです。

大正時代の末（1925-26年頃）に建造され、野尻湖へやってきました。  
以来、多くのキャンパーを乗せ、修繕を重ねながら今もなお現役で活躍しています。



**YMCA**

# 伝統の オメガを守る。

大正末期に造られたオメガ。熱意ある方々に支えられ、幾度もの修復を経て約100年にわたり野尻湖に在り続けています。

# 野尻が生んだ船に生きる人 雨宮伊作氏

航海訓練所教官、帆船乗船を経て海王丸の船長に就任、現在、東京湾一級水先人として活躍する雨宮伊作氏。彼は東京YMCAの「オメガ」が野尻湖では最も高いマストを持つヨットであると知り、大きな帆船に乗りたいと夢見たという。野尻湖と共に育った雨宮氏について、水先人の非常に重要な役割と大きな責任と共に綴られている。

## 東洋英和女学院/東洋英和楓の会 楓園 ISSUE 91より



雨宮 伊作



ISSUE 2021 1/31 VOL. 91 21

## 90年を経て再度よみがえる「オメガ」

東京湾一級水先人の雨宮伊作氏、東洋英和女学院および野尻字荘クラブ関係者の多大なるご協力を得て2014-15年に実施された、大型修繕の様子が綴られている。マストとブームのニスの塗り替え、極度の腐食と摩耗のためティラーとラダーの新調の様子、その非常に困難であった道のりが記されている。

舟艇技法 (Boat Engineering) No.123 より



# 後世に残していくために。

## 募金使途：船底防水加工作業費用

目標募金額：100万円 募金期間：2024年9月末まで

**お振込先:** 三菱UFJ銀行 神田支店 (331) (普) 1202091 公益財団法人東京YMCA

※お名前の後に「オメガ」とご入力ください。

お問い合わせ：東京YMCA野外教育センター Tel 03-3202-0323 Mail camp@tokyoymca.org

公益財団法人東京YMCAへの寄付金は、所得税・法人税・相続税